

年末年始のごみ収集

年末は、28日(金)の火・金コースまで通常通り収集を行います。29日(土)は月・木コースの収集を行います。年始は1月4日(金)から通常通り収集し、1月5日(土)は、月・木コースを収集します。

七日市・八日市による収集日の変更

七日市・八日市による交通規制のため、ごみの収集がで

きない地域は、次の通り収集日を変更します。

七日市

可燃ごみ 1月7日(月)に交通規制のため収集ができない地域は、翌8日(火)に収集を行います。

不燃・資源ごみ 下記の日程表の通り行います。

八日市

可燃ごみ 岩村町の本町、柳町、西町、新町、朝日町は、1月8日(火)の収集を9日(水)に変更します。

不燃・資源ごみ 岩村町の西町、新町、朝日町は、1月8日(火)の収集を9日(水)に変更します。

クール・ビズの効果 29トンのCO₂を削減

市役所では6～9月の間、クール・ビズを励行し、温室効果ガスの排出抑制に努めました。その結果、平成19年は例年にない猛暑であったにもかかわらず、クール・ビズ実施前の平成16年同期と比較して本庁舎の電気使用量を6万kWh(102万円)削減することができました。これをCO₂(二酸化炭素)に換算すると重さは約28.8トとなり、削減率は17.3%になります。

k(キロ)Wh(ワットアワー) = 1時間あたりの電力量

1月の不燃・資源ごみ収集日【1月は廃蛍光管も収集】

町名	地区	収集日	町名	地区	収集日
大井町	1・14区 (正家後田含む)	7日	岩村町	本町、柳町、新道、江戸町	7日
	2・4区	8日		新市場、日の出、日の出三、殿町	8日
	3・13区	9日		西町、新町、朝日町	9日
	5・6区	10日		石畑、大根洞、一色、緑ヶ丘	9日
	7・8区	11日		領家、山上、大通寺、1～3区、上平、さつきヶ丘、八本木住宅、菅沼	10日
	9・10区	15日		4～8区、旭ヶ丘、百合ヶ丘、下本郷	11日
	11・12区	15日		山岡町	山田
長島町	中野(永田川東)	16日	田沢、久保原	15日	
	中野(永田川西)	17日	原、田代	16日	
	正家(後田を除く)	18日	上手向、下手向、釜屋	17日	
	大洞地区	21日	市場町、宮町、本町、常盤町	18日	
	永田	22日	東山町、雇用促進住宅、友愛	21日	
東野	全域	22日	新井町、駅前町、滝坂住宅	21日	
	久須見	22日	新町、徳間町、向町、東町	22日	
三郷町	野井	24日	的場町、片平町	23日	
	佐々良木・椋実	24日	明智町	門野、杉平、杉平2区、野志、大舟、小泉、吉良見	24日
武並町	竹折	25日	串原	上・下柏尾、岩竹、安主、土助、才坂、上・下田良子、大栗、上田、阿妻、峰山、中切、高波、馬木、小杉、落倉	25日
	藤	28日		藤内、風、馬坂	28日
笠置町	全域	29日	上矢作町	中沢	25日
	全域	30日		全域(中沢を除く)	28日
飯地町	全域	31日	大馬渡	25日	
	全域	31日	小笹原、島、達原、横道、飯田洞	29日	
			本郷、木の実	30日	
			漆原(大馬渡を除く)、下、小田子	31日	

【1月の食用廃油(使用済つばら油)の回収】

とき 1月12日(土)～14日(月)
毎月市内各地区で食用廃油を回収しています。収集場所は恵那市ごみ百科事典19頁でご確認下さい。

収集するものは食用廃油に限ります。廃油入れとして使用した容器などは必ず持ち帰ってください



【1月の日曜リサイクル広場】

とき 1月20日(日)午前9時～11時
(雨天中止)
ところ 市役所前駐車場
回収品目 紙類、古着、飲料缶、瓶類、ペットボトル、プラスチック類、食用廃油



医療情報トピックス

気管支異物にご注意ください

「気管支異物」とは、誤って気管支に物が入ることです。新年を迎えると、もちを食べる機会が増えますが、もちは形が変化しやすく粘り気で、のどや気管支などに詰まりやすくなります。特に幼児や高齢者は、飲み込む力が弱い上、気管支が狭く詰まりやすいので、食べ物を細かくするなど、詰まりにくくする工夫が必要です。異物が詰まってしまうと早急な処置が必要となりますので消防署、病院などへ連絡して救急処置を行いまししょう。

また幼児は、何でも口にすべり傾向があります。特に酒のつまみで食べるピーナッツは、レントゲン撮影では写らないので、発見が遅れることがあります。家族で注意し、救急時には状況を医師にお伝えください。



子どもの急な発熱や誤飲などの対処方法や、医療機関へ受診するかどうかの判断の目安を提供しているサイトがありますので、参考にして下さい

こどもの救急
http://kodomo-qb.jp/
JCMの誤飲誤食110番
http://www.okiyaku.or.jp/go/in

薬の副作用

最近、薬の副作用に注目が集まっています。マスコミでは「薬害」という表現が用いられ、患者の恐怖心を膨らませていくように思われます。本来、どんな薬にも期待する薬の効果と、好ましくない副作用が同時に備わっています。副作用には、薬の飲み方や薬の量が多過ぎるために起こるものと、アレルギーによるものがあります。

◆用法・用量を守る

薬の種類によって用法はさまざまです。例えば、睡眠薬や安定剤などは眠くなる成分が含まれているため、就寝前に飲みます。

血圧を下げる薬は、飲む人の血圧の高さによって医師が飲む量を決めていきます。「昨日飲み忘れたから、今日2回分飲めばいい」などと飲んでしまうと、血圧が下がり過ぎて、めまいやふらつきを起す可能性があります。

薬の副作用

誤った飲み方をすると大変危険です。薬を服用する際は、医師や薬剤師に相談するか、薬の添付文書をよく読んで、正しい飲み方をしましょう。

◆アレルギーによる副作用

薬を飲むと湿疹が出るなどの反応が起こる場合があります。これをアレルギー反応といい、個人差があつて親子でも異なります。特に、お子さんが薬によるアレルギー反応を起こした場合は、家族の方がその薬品名と、どんな症状が出たのかを記録し、医療機関で受診の際は、医師に伝えましょう。

薬を飲むことは、何らかの副作用があるという事を理解して、正しく飲むことを心掛けてください。



一般の方でも扱える

(自動体外式除細動器) AED

AEDとは、心臓がけいれんし血液を流すポンプ機能を失った状態(心室細動)に対して、電気ショックを与え、正常なリズムに戻すための医療機器です。最近、人の多く集まる施設などへの設置が進んでいます。

市では本年度、市内の全小中学校や公共施設に設置する予定です。操作は非常に簡単ですが、緊急時、実際に使用するとなると混乱することがあります。消防署では、AED操作を含む救急救命講習を実施しています。

講習を受けて、いざというときのために備えましょう。

